

第1回 水道施設整備基本計画策定委員会 会議概要

1. 開催日時

令和元年 11 月 27 日 (水) 午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

2. 開催場所

福島市飯坂町字沼ノ上 1 番地の 1
福島地方水道用水供給企業団 大会議室

3. 出席者

(委員)

今泉委員長、阿部委員、長南委員、片平委員、関根委員、斎藤委員、佐藤委員、鈴木委員、
穴戸委員、寺島委員

(事務局)

菅野総務課長補佐、佐藤契約管材係長、山内主査

(監督員)

佐藤技査、松谷技査

(受託者)

渡部、山下、武澤、鎌田

4. 議題

- (1) 水道施設整備基本計画の策定について
- (2) 企業団の現状と課題について
- (3) 基本計画策定スケジュールについて

5. 議事(要旨)

- (1) 水道施設整備基本計画の策定について

資料 1 に基づき、水道施設整備基本計画策定の基本事項について、事務局から説明を行った。
主な議事概要は以下のとおり。

【事務局より】

- ① 基本計画の計画期間は、長期(100年)と中期(20年)の2パターンを設定する。
 - ◆ 長期計画: 次期事業運営計画(水道事業ビジョン)を策定する際の基礎資料となる全施設の更新計画を見通した構想的な要素として整理する。
 - ◆ 中期計画: 長期計画をフィードフォワードする形で、アセットマネジメント(4D)を踏まえた実現性のある施設整備計画として整理する。

- ② 基本計画は第5期財政計画(平成28年度～令和6年度)の見直しは行わず、さらに長期的な財政収支を見通すものである。
- ③ 基本計画で検討する事業内容に関しては、次期事業運営計画(水道事業ビジョン)整理後、新財政計画に基づいて令和7年度以降の事業実施となる。

(2) 企業団の現状と課題について

資料2に基づき、第2期事業運営計画による企業団の現状と課題並びに厚生労働省立入検査時の指摘事項について、事務局から説明を行った。主な議事概要は以下のとおり。

【事務局より】

- ① 基本計画検討における現状把握では、現地調査等の結果を踏まえて、第2期事業運営計画の課題を具体化する形で現状分析を行い、再度課題を精査して再整理する。
- ② 耐震化対策について現時点では具体的な案はないが、管路の継手部に離脱防止金具の設置等による耐震化の処置が有効ではないかと考えている。
- ③ 耐震診断は再度やり直すわけではなく、従前の診断結果や耐震補強状況を分析、評価して検討する。また、簡易診断しか実施していない施設など、詳細な耐震診断が必要と判断される施設については抽出整理する。

【委員より】

- ① 近年、従前では想定されていなかった規模の自然災害が多発しており、これらも加味して検討を進めてほしい。

(3) 基本計画策定スケジュールについて

資料3に基づき、「水道施設整備基本計画」策定スケジュールについて、策定委員会の開催予定を中心に事務局から概要説明を行った。主な議事概要は以下のとおり。

【事務局より】

- ① 水需要予測は、推計方法、条件について整理ができた段階で、推計する前に各委員に確認してもらったうえで推計作業を行うこととなった。
- ② フレームとして捉える水需要予測については、国立社会保障・人口問題研究所の推計を利用して機械的に算定した値を作成し、これを各構成市町の水道事業ビジョンの推計値と比較検証して計画水量について整理する。

【委員より】

- ① 検討する内容が多岐にわたり、各委員会での資料ボリュームも多くなることが想定されるため、委員会の資料は事前に確認できるように配布するようにしてほしい。
- ② 将来の水需要見通しについては、構成市町における各々の事情や政策を加味したうえで設定されており、これらの推計値を盛り込んで策定している構成市町の水道事業ビジョンの推計値を勘案して算定して欲しい。
- ③ 整備案などについて委員会で議論する場合に、認識が一致していないと議論にずれが生じる危険性があるため、基本計画成果のイメージを委員で共有したほうがよい。

(4)各委員からの自由意見について

委員会全体を通して、各委員から一言ずつ意見が出された。主な意見は以下のとおり。

【各委員より】

- ① 安定供給を命題として、止まることのない施設計画を検討したい。
- ② 施設整備計画と財政計画のバランスが重要である。
- ③ 企業団単独の計画ではなく、3市3町と企業団とが協同で作り上げる計画と位置付けたい。
- ④ 水需要予測による計画水量の設定が肝になると考える。
- ⑤ アセットマネジメントによる実施可能性のある計画としたい。
- ⑥ 長期計画の計画期間が100年というのは長すぎるのではないか。
- ⑦ 判りやすい計画となるように留意して欲しい。
- ⑧ 来年度、基本計画見直しや水道事業ビジョン策定、アセットマネジメントなどの事業を予定しており、本委員会での内容を参考としたい。
- ⑨ 財政フレームの整理が重要である。
- ⑩ 小まめな情報交換が大切である。
- ⑪ 先行事例として、公表されている用水供給事業の基本計画について収集し、参考となりそうな事例を委員に提示して欲しい。

(5)議事録の公開について

委員長から、委員会の内容について公開とする予定である旨の説明があり、各委員から議事概要公開の了承を得た。

6. 次回開催予定

令和2年2月下旬から3月上旬頃を予定(後日、調整)